

2、感染発生時事業所として心配していること、他事業所等と情報共有したいことがあれば記載ください。

【グループホーム】GH

- ・グループホームで発生した場合に入居者の隔離ができるのか。（職員体制、施設の環境で厳密な隔離ができるのか。（ちくほっくる）
- ・隔離体制の取れる状況の施設があれば情報の共有をお願いしたい。（ちくほっくる）
- ・新型コロナウイルス対策として共有の空間で3密防止できるか心配である
単調な暮らしとコロナに対する恐怖から精神的なストレスを抱えている入居者がいる。
通勤のために公共機関を利用する入居者がいるので心配である。感染者が出た場合どうすればよいかわからない。支援者側もコロナ対策と対応で精神的なストレスを抱えている（GH てくてく）
- ・グループホームで感染者や濃厚接触者が出た場合は、小規模な法人のグループホーム内での療養は、グループホーム学会の見解からも、人的制限、空間的制限から物理的に無理だと考えている。
従って、通常で言われている自宅療養はあり得ないので、県が指定する療養施設もしくは入院の措置の対応をお願いしたい。（県、市には都度同様なお願いを既に行っている）（春の小川）
- ・日中、他事業所を利用しているが、共立学舎以外の事業所に通所している利用者は通所停止している。
来週からサービスを変更し、共立学舎日中一時を利用する予定ではいる。（まだ未定）
外出、外泊、帰省の自粛のためGH内での生活が続き、無断外出や精神面で不安定になる方の対応が必要になっている。（GH さつき、杉のこ）
- ・感染していない利用者さんを安全に隔離できる場所がないので心配（GH 赤とんぼ）
- ・現在、GHで外出している方がいるが、外出先での感染予防が徹底されていないため、今後かなり不安はあるが、当法人としては入室時の感染予防対策はより強化している。（GH かのん）
- ・利用者が感染発生時には、他利用者への対応はどのように行っていけばよいか、また職員の出入りについてどう対応しているか、を共有してほしい。（GH ハルハウス大門三番町）
- ・濃厚接触者となった場合の対応。グループホーム内でレッドゾーンとグリーンゾーンを分けにくく、職員1名体制のため不安が大きい。通所先がバラバラで各所で接触する人が異なるため、感染リスクとしては入所施設より高く思うが、他法人ではどのような対応か。（アルプス学園GH）
- ・陽性者との濃厚接触者の扱いについて、グループホームの対応を共有出来たらと思う。（小倉ホーム）
- ・作業所が閉鎖した場合、日中支援をしていただく場所（作業所など）がどうなるか心配（わすれな草）
- ・小規模事業所なので、どうしたらいいか考えていない。等事業所から発生しないことを祈る（蛍の家）

【児発・放デイ】

- ・感染が発生した場合、休業を考えているが、どの程度の日数休業すればよいのか。（リーノ）
- ・利用者や従業員が要請になった場合はすぐに休業を考えているが、従業員の家族が感染した場合の対応はどのようにしているか。（リーノ）
- ・通所利用されている保護者、その子どもが、一定期間の閉所になった場合の処置等（放課後デイみらい）
- ・発生時については、関係事業所、ご利用者、自社の職員にはすべてオープンに事実関係を報告連絡し共有することを基本とする。（児発・放課後デイ ゆめぼけっと）
- ・今のところサービス利用可能。主に発達障がい児の対象のため、小中高の学校の流れに沿った感染症対策を考えている。もし、利用児童の学校が休校になれば、その児童の利用も休止する方向で考えている。
具体的な対応策を現在調整中。（CURE GARDEN 結家）
- ・利用者さんまたは職員に感染が確認された場合、事業所を休業せざるを得ないが、真っ先に利用者さんに迷惑がかからないようにしたいという思いがある。そんなときのために、事業所間で速やかに連携が取れるよう、何曜日に何人なら受け入れ可能・・・のような状況がわかっているとありがたい。（放デイおはな）
- ・しばらく行く場所がなくなる、お子さんたちお母さん方のフォロー。（やまびこ学園）

- ・通所利用を制限してお休みいただいている在宅の利用者様に対して、作業継続の支援をしている事業所があれば、具体的にどのようなことをしているのか教えてほしい。（あすなろ）
- ・感染が発生した場合、どのような対応、期間の休養、利用者は代替事業所利用するか、などシュミレーションできていないことが心配。（あおぞらnobi）

【通所・日中】

- ・デイサービスなどがある複合施設なのでクラスターが心配。（すばる）
- ・実際に感染者が発生した事業所の経験を聞きたい。（森のこびと、ケアホームはちもり）
- ・①利用者在宅支援100%にした時の支援内容 ②職員を100%在宅にした場合の指示命令系統（現在ガイドライン作成中） 職員の給料保障 ③事業の継続 ④クラスターの発生（ギャラリーてくてく）
- ・誹謗、中傷などの差別的な扱い。感染者が悪いわけではない・・・。感染者が出た場合、濃厚感染者などの確認、休業、その後ある程度の期間が経ち事業再開となった時に、今までと同じように外部に仕事や新規の受入れ等々ができるのか心配。（B型 そよ風の家）
- ・宿泊型利用者が感染して、施設待機となった場合に隔離ができないこと。（アルプスホーム）
- ・事業収入の減少により、事業運営が継続できなくなること。（多機能型Innocence）
- ・今週中に在宅就労の手順を整え、施設あるいは施設周辺での感染者が出た場合は在宅就労のシステムへの移行を検討中。（B型 HATA楽工房）
- ・県外へ行った場合、帰ってきた日から2週間休暇を取るよう取り決めをしているが、他事業所はどうしているか。PCR検査を受けて頂き、証明書等費用が発生するが、自己負担にするのか、事業所負担にすべきか。2週間たって熱が無かったとしても、PCR検査を受けるべきか。（A型 有明のパン屋さん）
- ・棒護具物品（マスク・エプロン等）以外で準備している物品や施設の勤務体制について教えてほしい。（アルプス学園）
- ・ご利用様の行動歴や濃厚接触者となりうる方について、どこまで把握する必要があるのか。また、把握する場合はどのように行う想定なのかお聞きしたい。（就労支援 みどりが丘）
- ・入院ができない場合の対応（特にGHの利用者）
濃厚接触者の対応（特にGHの利用者の隔離はどうすればいいのか。ゾーニングに限界がある。
隔離するお部屋（宿舍）の確保 ※支援者なども寝泊りできる部屋の確保も含む
人手の確保（法人内での応援もあるが、同時に感染が起こった場合はどうすればいいのか）（穂高悠生寮）
- ・現状、職員数ギリギリで運営している。感染発生の際は人手不足になるので心配。
現在発生している長野県内外の施設の感染対策情報が少なく、当施設で取るべき行動等を知りたい。
また、常日頃の利用者、職員等の行動についても現状でよいか心配。最悪、当施設で感染発生が確認された時には、補充要員をどのように手配すればよいか心配である。（幸泉園）
- ・B型、GHの利用者が一緒に活動する中、感染が発生すると大きなクラスターになることが心配（マイハー
- ・業務委託の仕事を長期間休むことは難しい。（B型 のむらダイム）